

## 山口情報芸術センター [YCAM] コンサート

日野浩志郎新作コンサートピース  
**Chronograffiti**2026年2月21日(土) 19:00開演  
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

気鋭のミュージシャンによる新作コンサートが開催決定！

光とリズムが描く、時間の軌跡

山口情報芸術センター[YCAM]では、作曲家／ミュージシャンの日野浩志郎(ひの・こうしろう)による新作コンサートピース『Chronograffiti(クロノグラffiti)』を公開します。

日野は、実験的なバンドgoat(ゴート)の主宰者として知られ、ミニマルな構造と精緻なリズム操作を基軸にバンド音楽、電子音楽、現代音楽の領域を横断する独自の作家活動を展開してきました。その作品は海外のフェスティバルやレーベルから高い評価を受けており、現在の日本の音楽シーンにおいて比類のない存在感を示すアーティストのひとりです。近年は太鼓芸能集団・鼓童からの委嘱により新作を作曲するなど、活動領域をさらに拡張しています。

本コンサートでは日野がドイツのジャズ・フェスティバルMoers Festivalの委嘱により制作し、同フェスティバルにて発表した前田剛史、安藤巴、谷口かんなの3名のパーカッショニストによるリズムアンサンブルに古館健によるヴィジュアルエフェクトを導入した『Chronograffiti』を公開します。演奏する空間や演奏者の存在に改めて着目し、それらの機能を拡張を試みる本公演は、音楽聴取体験の新しいあり方を提示するでしょう。ぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## [お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: [press@ycam.jp](mailto:press@ycam.jp) ウェブサイト: [www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



撮影:井上嘉和

## 気鋭のアーティストによる新作コンサートピース



《GEIST》(2019年) 山口情報芸術センター[YCAM]  
撮影:谷康弘

音楽家で作曲家の日野浩志郎は、大阪を拠点に活動し、ソロからバンドまで幅広い形態で音楽表現を追求しています。YCAMでは、2018年に自身が主宰するバンド〈goat〉のライブコンサートを実施、要素を極限まで絞り込んだ音素材と、緻密に統御されたリズム構造を通じて、聴取体験を根本から再構成するようなアプローチが高く評価されました。また、翌2019年には、YCAMにてコンサートピース『GEIST』を上演。音の発生源が不可視となる環境構成や、空間全体で秩序が生成されていくような音響デザインは、日野の作曲観の核心を示すものとして強い印象を残しました。こうしたアプローチはその後の活動にも連続しており、国内外のフェスティバルでのライブ、舞台・映像作品の音楽制作、さらには太鼓芸能集団・鼓童からの委嘱による新作など、多様なプロジェクトの中で「音が生まれ、影響し合い、空間に広がる秩序そのものを作曲する」という姿勢を一貫して追求し続けています。

本コンサートでは、日野が近年取り組んできた「リスニング体験そのものの拡張」を軸とする多角的で実験的な手法をもとに、聴覚と視覚の双方からミニマリズムを追求した新作リズムアンサンブル『Chronograffiti』を、YCAMの空間特性にあわせて新たな演出で上演します。極限まで要素を削ぎ落としたリズムと光の構成が、YCAMの場と結びつくことで、これまでにない知覚体験が立ち上ります。

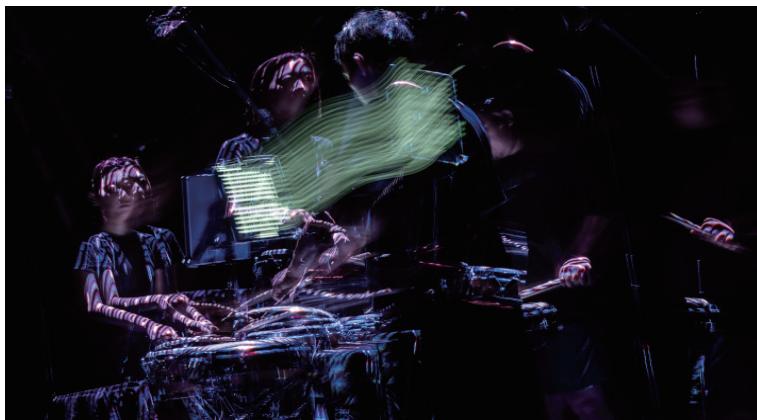
### ■ 日野浩志郎 (ひの・こうしろう)

音楽家、作曲家。1985年生まれ、島根県出身。現在は大阪を拠点に活動。メロディ楽器も打楽器として使い、複数拍子を組み合わせた作曲などをバンド編成で試みる「goat」や、そのノイズ/ハードコア的解釈のバンド「bonanzas」、電子音楽ソロプロジェクト「YPY」等を行っており、そのアウトプットの方向性はバンドやダンスマッピング、アンサンブル作品など多岐に渡る。これまでの主な作曲作品は、多数のスピーカーや移動する演奏者を混じえた全身聴覚ライブ「GEIST(ガイスト)」(2018-)の他、サウンドアーティスト FUJI|||||ITAと共に作曲・演奏した作品「INTERDIFFUSION A tribute to Yoshi Wada」(2021-)、視覚と聴覚の両面からミニマリズムに迫るリズムアンサンブル作品「Chronograffiti」(2025)、等。佐渡を拠点に活動する太鼓芸能集団 鼓童とは2019年以降コラボレーションを重ねており、中でも延べ1ヶ月に及ぶ佐渡島での滞在制作で映像化した音楽映画「戦慄せしめよ/Shiver」(2021、監督 豊田利晃)では全編の作曲を日野が担当し、その演奏を鼓童が行った。音楽家・演出家のカジワラトシオと舞踊家・振付家の東野祥子によって設立されたANTIBODIES Collectiveに所属する他、振付師 Cindy Van Acker 「Without References」、映画「The Invisible Fight」(2024年公開、監督 Rainer Sarnet)等の音楽制作を行う。エストニアフィルムアワード EFTA2024にて映画「The Invisible Fight」の最優秀作曲賞を受賞。



撮影:井上嘉和

## 聴覚と視覚の両面からミニマリズムを追求したリズムアンサンブル



『Chronograffiti』(2025年) クリエイティブセンター大阪内 Black Chamber

撮影: 井上嘉和

本作は、2025年に制作された日野の最新作であり、ドイツのMoers Festivalの委託により、6月に世界初演、続いて7月に大阪で上演されました。関西以西では今回が初の上演となります。

タイトルの『Chronograffiti』は、“時間”を意味する「Chrono」と、“落書き”を示す「Graffiti」を組み合わせた造語で、時間と身体の運動が空間に刻む一種の残像や、視覚的な痕跡をイメージさせる言葉です。本作では、奏者の身体動作と時間的なリズム構造が空間の中に“描き出す”知覚的な軌跡をテーマとしています。ステージセットは、ボンゴやタムなどの必要最小限の打楽器のみで構成されており、要素を極度に絞り込んだ環境のなかで、リズムの反復と変容から陶酔的なミニマリズムを生み出すことを目指しています。演奏は、元・鼓童の前田剛史、日本管打楽器コンクール第1位の安藤巴、日野作品に継続的に参加してきた谷口かんなの3名。三者の身体的なリズム操作が絡み合うことで、作品特有の立体的なリズム構造が形づくられます。さらに、古館健によるヴィジュアルエフェクトが、演奏者の動作や打楽器の局所的な振動をストロボ的な照明効果と連動させ、肉眼では捉えきれない微細なムーブメントを視覚的に浮かび上がらせます。映像機器を用いない、照明のみで成立する独自の視覚表現は、本作の特徴的な要素のひとつです。

本コンサートでは、国内でも最高レベルの音響環境を備えるスタジオAを会場に、演出や舞台装置をさらにアップデートした最新バージョンを公開します。日野がこれまでに追求してきたリズムへのアプローチを新たな段階へと押し広げるとともに、リズムと光だけで構成されるこれまでにない音楽の聴取体験を創出します。

### ■ 古館健 (ふるだて・けん)

アーティスト、ミュージシャン、エンジニア。コンピューターとプログラミングを基盤として、音響、映像、エレクトロニクス、テキスタイルなど多様なメディアや領域で活動。サウンドアートプロジェクト「The SINE WAVE ORCHESTRA」を共同主催(2002-)。Dumb Typeのメンバー(2013-)。西陣織織元「細尾」との共同プロジェクト「Quasicrystal」(2015-)。サウンド・インスタレーション『Pulses/Grains/Phase/Moiré』(2018)にて、第22回 文化庁メディア芸術祭大賞に選出。

### ■ 前田剛史 (まえだ・つよし)

阪神淡路大震災の復興活動の一環で幼少期より和太鼓に親しみ、2008年より「太鼓芸能集団鼓童」入団。約10年間を籍し年間100公演を超える国内外のツアーに参加。鼓童在籍中は太鼓演奏、唄、笛、鳴り物、踊りを担当。多数の舞台演出を手掛ける。また歌舞伎俳優で人間国宝の坂東玉三郎と「アマテラス」「幽玄」で共演。その他にも多数の国内外のアーティストとの共演実績がある。2017年に鼓童独立後、現在はソリストとしてこれまでの経験を活かし独自の音楽性、演奏表現を追求している。

### ■ 安藤巴 (あんどう・とも)

1997年6月14日生まれ、千葉県柏市出身。音楽家、打楽器奏者。幼い頃よりピアノ、ドラムを始め、13歳から作曲を、その後本格的に打楽器を学び、東京藝術大学打楽器専攻に入学。卒業後はフリーの打楽器奏者として全国のオーケストラへの客演を中心に、現代アンサンブルへの参加、独奏の機会も多い。さらに近年は身の回りのものや打楽器を用いた自分自身の表現を模索しており、即興演奏、楽曲制作、ライブ活動も増えている。

### ■ 谷口かんな (たにぐち・かんな)

1993年生まれ、京都市出身。6歳よりピアノを、本格的な打楽器の習得を13歳より開始し、京都市立京都堀川音楽高校、京都市立芸術大学の打楽器科を卒業。大学在学時から、美術家、アーティスト、ダンサー等と共に、即興演奏の経験を積む。卒業後はフリーランスの音楽家として室内楽や、新曲初演を中心活動。卒業後も継続して他分野との即興演奏に力を注ぎ、各地で様々なアーティストと表現を行う。近年はヴィブラフォンでの演奏活動に最も注力している。

## 開催概要

## 日野浩志郎新作コンサートピース

## Chronograffiti

2026年2月21日（土）19:00開演（18:30開場）

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

定員：150名

要チケット購入（右欄参照）

作曲：日野浩志郎

ビジュアルエフェクト：古館健

出演：安藤巴、谷口かんな、前田剛史

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## 関連上映

## Chronograffiti開催記念

## 豊田利晃監督作品シリーズ上映

会場：スタジオC 有料

「Chronograffiti」の開催を記念して、日野浩志郎が、延べ1ヶ月におよぶ鼓童村での滞在制作で書き下ろした音楽映画「戦慄せしめよ」を含む、豊田利晃監督の作品を上映します。

## 同時開催展示

オロン・カツツ+イオナット・ズール+スティーブ・ベリック

## PROJECT MRT

Natureless Solution

／太陽と土と糞から切り離したテクノロジーの再考

YCAMとのコラボレーション

2025年10月11日（土）～2月23日（月・祝）10:00-19:00

会場：ホワイエ、中庭、2階ギャラリー

入場無料

オーストラリアを拠点に活動するバイオ・アーティストのオロン・カツツ、イオナット・ズール、スティーブ・ベリックによる新作インсталレーションを公開する展覧会です。

## チケット情報

発売日：12月20日（土）10:00

チケット料金【全席自由】：

前売

一般：3,500円

特別割引、any 会員：3,000円

25歳以下：2,500円

## 当日

一般：4,000円

25歳以下：2,500円

※未就学児入場不可

※前売り完売の際は、当日券の販売がない場合がございます。

※特別割引：シニア（65歳以上）、障がいを持つ方及び同行の介助者1名が対象

※車イス席は事前にお問い合わせください

## 電話／窓口

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00～19:00

※毎週火曜、年末年始（12/29～1/3）休館

## インターネット

www.ycfcp.or.jp

24時間受付

## 託児サービス

2月14日（土）までにチケットインフォメーションまでお申込（有料）